

http://www.minamih.net/



12・3・17(土)
南NEWS NO71



文化大G出口で車の
ドロを洗い落とす
お父さん達。
ズボンはびしょ濡れ。
3/11

5年生 八王子招待 3月11日 文化大G

残念ながら1回戦敗退です。山梨の白根FCに、試合は押していながら前半は逆襲で先制され、後半はコーナーキックをニアで合わされ、0-2で敗退しました。

その後のフレンドリーで、殿入とは引き分けましたが、シルクとは5-2で勝ち、ドッチング、フォアチェック、オーバーラップ、プルバックにスライディングシュートで得点等、見違えるようなサッカーを魅せてくれました。

栗橋君の渡り廊下を駆け上がる速さ、小林君の相手陣内での全速力のチェイス、二人に挟まれても強引に突破する強さ、持っている力を出してくれました。

子ども達をサポートしてくださるお家のみなさんのGAMBAる姿が子ども達の心を動かしたのだと思います。有り難うございました。 by南のアンパンマン

遅くなって済みませんでした。谷口コーチの心のこもったレポートです。子ども達へのメッセージです。

JA 東京カップ 5年生大会 12B 予選

2011年10月16日(於:文化大グラウンド)



○チームのめあて: コーチング、中側、ドッチング、プルバック

【第一試合】南八王子 6-0 小宮 SC (前半 4-0)

◎得点者: 小林君 x3、平山君、栗橋君、谷口君

5年生の集大成とも言うべき大事な大会の初戦、円陣で気合いを高め臨みました。試合開始早々コーナーキックから平山君がゴールライン際をキープ、プルバックに小林君が合わせ理想的な形で先制点を得ました。その後2人のコンビネーションが冴え、相手ゴール前で得た間接FKから、平山君へのお返しのアシストで2点目。

その後、濱野君へのスルーパスからの攻め上がりなど、攻めども点が取れない時間が過ぎますが、前半15分またも左サイドから平山君が一人かわしてプルバックし、その先に待ち構えた小林君が3点目をゲット。前半終了間際には、怪我

からの復帰2戦目の栗橋君がDFの底から攻め上がり、芸術的なロブショットで4点目を取得しました。

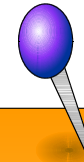
後半も南優位で試合が展開しますが、開始5分、相手のファウルで平山君が腰を痛め退場。薄くなってしまった攻撃の軸をカバーしてくれたのがCB谷口君、積極的な攻め上がりでインターセプトから1人かわして真正面から5点目。その後も鶴田君のフォアチェック等、全員が積極的に攻撃に参加することで、終了間際には小林君の右サイドからの単独突破による6点目のゴールが生まれました。

【第二試合】南八王子 1-4 南多摩 SS (前半 0-1) ◎得点者: 平山君

二試合目の南多摩SSは同じく小宮SC相手に5対0で勝利しており、拮抗した試合になるであろう事が予想されましたが、立ち上がりからアプローチの速さに圧倒され、早々に右サイドの突破から失点を許してしまいました。5年生の悪い癖は、先制されると途端に余裕が無くなり、拙攻によるミスが出始めるのですが、この試

合もまさにその通りでした。ボールを受けると慌ててパスの出し先を探し、中途半端なホスピタルパスか相手にぶつけるかで攻撃の意思すら伺えません(あれだけ1対1の個人技を磨いてきたはずなのに…)

後半開始3分にはGKとDFの連係(声かけ)が取れない形でオウンゴール。その2分後にもDFがかわされ立て続けの失点。3点を追いかける形になりましたが、フィニッシュまでの形が作れない中、腰の痛みにも耐え強硬出場していた平山君が、相手ペナルティ内でPKを受け、ようやく1点をもぎ取る事ができました。しかしその後ミドルレンジから頭越しに打たせてしまい決定的な4失点目を喫してしまいました。試合終了間際に、小笠原君が左サイドを突破し、素晴らしい左クロスを上げますが合わせられず、そのまま終了。非常にフラストレーションの残る結末となりました。



小宮SCとの戦いは、伸び伸びと普段通りの試合運びが出来たように思います。しかし後半、平山君が傷んで引いた後の攻撃は、タメもなく崩しのアイデアも感じられずチームとしての課題を感じました。

二試合目は5年生の修正しきれなかった悪い部分が出てしまったという印象を受けました。コンパクトを保ち、数的優位を作りながら全員攻撃・全員守備をすることで相手の戦意を奪い、自分たちのペースに持って行くのが南の5年生の戦い方であったはずなのに、そのために絶対必要なコミュニケーションの一つである声かけが疎かになり、逆に相手にペースを握られてしまいました。

今大会はコンディションの悪い選手が多かったという不運もありましたが、それすら撥ね退けるほどの強さを一人一人に持ってほしいとコーチは思っています。そのためには他のどのチームにも引けを取らない練習量を誇る5年生の、練習に向かう意識をもっと高めてほしいと思います。

常に今よりも少し高いレベルの目標を設定して、その目標を達成できたら自分で自分を、あるいはコーチや親に褒めてもらう。そしてまた少し高い目標設定をする。この繰り返しが能力を伸ばすコツです。だらだらと流されるように与えられた課題をこなすだけでは本当の力はつきません。そのための助力は惜しまないから、更なる上を目指して一緒にGAMBAろう!

by 谷口コーチ